

第5回(仮称)三田東認定こども園運営方針等検討委員会 (会議の概要)

会議の名称	第5回(仮称)三田東認定こども園運営方針等検討委員会
開催の日時	令和5年6月7日(水)19時00分~21時00分
開催の場所	有馬富士共生センター 多目的室
出席した委員の氏名	渡邊会長、小杉副会長、小坂委員、杓谷委員、森鼻委員、馬場委員、尾山委員、吉川委員、杉本委員、西克宏委員、牲川委員、西るみ委員、丸山委員(西上委員、塚本委員は欠席)
出席した庶務職員の職及び氏名	西垣戸子ども・未来部長、横溝子育て応援室長、藤田幼児教育振興課長、久後幼児教育振興課参事、増田幼児教育振興課副課長、亀島幼児教育振興課副課長、坪倉幼児教育振興課職員、岩元幼児教育振興課職員、管幼児教育振興課職員
その他出席者	0人
傍聴人の人数	4人
議題	<p>1 協議・報告事項</p> <p>(1) 認定こども園の名称について</p> <p>(2) (仮称)三田東認定こども園施設整備に当たって大切にしていることについて</p> <p>(3) (仮称)三田東認定こども園の登降園時の安全確保対策等(敷地)について</p> <p>(4) 認定こども園1日の過ごし方(イメージ)について</p> <p>(5) 通園バス運行の考え方について</p> <p>(6) 検討委員会のスケジュール(予定)について</p> <p>(7) その他</p>
会議の概要(結論)	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)三田東認定こども園」の正式名称として、検討委員会として「よつば」、「ありまふじ」を候補に決定した。 ・認定こども園の施設整備にあたっては、現場の職員の意見をできるだけ設計に反映することや、トイレ改修にあたっては、洋式化を基本としながら、練習用の和式トイレの設置についても考慮するよう意見があった。 ・登降園を管理するシステムの導入や不審者の防止等、園児の安全確保に向けた施設整備を求める意見があった。 ・登降園時の安全対策として、放課後に運動場で遊ぶ児童の安全対策や進入路の出入口の電柱の移設を検討するよう意見があった。また、現場確認を7月13日、7月14日の8時30分を実施することを確認した。 ・認定こども園の子どもたちの1日の過ごし方については、長時間保育の子どもへの預かり方などを工夫するよう意見があった。 ・その他として、志手原幼稚園改修中の志手原幼稚園から小野幼稚園の送迎バスのルート・時間等について、次回の検討委員会で示すこととした。
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	認定こども園の名称について、(仮称)三田東認定こども園施設整備に当たって大切にしていることについて、(仮称)三田東認定こども園の登降園時の安全確保対策等(敷地)について、認定こども園での子どもたちの1日の過ごし方(イメージ)、通園バス運行の考え方に

	ついて、検討委員会のスケジュール（予定）について、就学前施設在籍状況
連絡先	子ども・未来部 子育て応援室 幼児教育振興課 電話 (079) 559 - 5232

1 開会

- ・西垣戸子ども・未来部長あいさつ

事務局

本日の委員会につきまして、委員の皆様のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また、会議は公開となります。現時点での傍聴者は4人です。

なお、本日の予定としまして、1時間30分程度の会議時間を予定としております。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、次第の2点目、議事に移らせていただきます。ここからの委員会の進行につきまして、渡邊会長にお願いいたします。

会長

今日は、梅雨の晴れ間になりました。毎日気温の変化がありますので、お体に気をつけていただけたらと思います。

それでは、協議・報告事項の1点目、認定こども園の名称について事務局より説明願います。

2 協議・報告事項

(1) 認定こども園の名称について

事務局より4/13ページにて説明

会長

ただいま説明のありました内容につきましてご意見、ご質問等がありましたら、挙手のうえご発言をお願いいたします。

この場で、園名称をどれか一つに決めないといけないということではありません。ご意見はありませんか。

事務局

よろしければ、園の職員から、園児の皆さんの様子を含めて報告いただいた上で、協議していただければと思います。

委員

この日は、園名を決めるために集まったというよりは、みんなで交流しようということで集まりました。朝から砂場やいろんな物で遊んで、みんな仲良くなることができました。

ここにある園名称候補については、子どもたちはどれについても好意的に感じたようで、「見たことがある」、「聞いたことがある」、「知っているよ」と話してくれました。「わかば」一つをとっても、ここからお花が咲いたり実がなったりと想像を膨らませていて、こんな名前になったらいいのにと期待を込めて話してくれていると感じました。

委員

6月1日に、今年度初めての3園交流で高平幼稚園に集まりました。初めは緊張気味の子どもたちでしたが、園庭で一緒に遊んだり、お弁当を一緒に食べたりして、活動を深めることができました。午後からの話し合いでは、5つの名前を1つずつピックアップして、3園の子どもたちが一緒になって話し合いが進みました。

「ありまふじ」は有馬富士公園に行った経験から「楽しかった」と話す子、「わかば」は先生が丁寧に話を投げかけると、小さいけれどもエネルギーをたくさん蓄えていて、後々生き生きときれいな花になったり、木になったりする

ということをイメージすることが出来ました。「つばさ」は羽をイメージし、自分たちがどこまでも飛んで行けると話す子もいました。「くじらやま」はくじらは大きくて壮大で、山はみんなを温かく包んでくれて見守っているという話が出ました。

委員　子どもたちは、みんなが高平幼稚園に来てくれることがとても嬉しくて、3園交流の計画の段階からとても楽しみにしていました。天気にも恵まれて、外でいろんな事ができて、とても良い交流会になりました。午前中にたくさん遊ぶことができましたので、すごく仲良くなり、お昼からの話し合いもそれぞれの園で固まることはなく、混ざり合っただけで座りながら一緒に話し合いをすることができました。

園名称の説明を聞いて、どの言葉を聞いてもいろんな事を連想して、子どもなりの意見を言うなど、子どもたちはすごく盛り上がっていました。子どもたちも先生も、どの名前になってもいいなと楽しみにしています。

副会長　西と東とでは1年ずれていますが、名称を決定する時期は同時ですか。

事務局　同時に決定していく予定です。

副会長　西の候補の「みつば」と、東の候補の「よつば」が似ているように思いまして、保護者の方や子どもたちが混乱しやすいのではないかと心配する意見が出ていました。

「ありまふじ」は、有馬富士公園に行ったことがある子どもさんがとても多いということと、どのあたりの認定こども園なのか立地も分かりやすく良いという意見がありました。同時に決定するのであれば、「みつば」、「よつば」のところを少し考慮していただけたらと思います。

事務局　西の名称候補5つの中で、子どもたちの反応が特に良かったのは、「さくら」と「なかよし」でした。西の検討委員会で、委員の方のご意見を反映していきますが、この子どもたちの反応を報告したいと思います。

委員　名称はどのように決定されますか。

事務局　今回いただきました委員の方のご意見を踏まえて、市長に報告し、そこで決めさせていただきます。最終的には、名称を一つに絞り、認定こども園設置条例として、議会に提出する流れになります。市長が決定する際に、委員の皆様のご意見を反映させていただけたらと思います。

委員　この前いただいた資料では、検討委員会において、名称案の意見を取りまとめるのは6月と書いてありましたので、今回の委員会で、委員会として方向性をまとめて、9月に提案されるということでしょうか。

もう一つは、私は志手原在住ですが、「よつば」のほうが4つの地域で良いかなと思います。「ありまふじ」は、志手原としては良いが、他の地域の人には馴染みがないのかなという気がします。西の方が「みつば」となれば、少し困るような思ったのですが、西の子どもさんの反応が「さくら」、「なかよし」の方が良かったと聞いて、個人的には「よつば」が無難かなと思います。

委員　園の名称を決めるに当たって、園児の意見を聞こうというアイデアは、素晴らしいと思いました。それを交流会の機会に、園児たちがお互いにどういう意見を言ってどう考えているか、そういう場面にいただいた先生方の考え

方、園での教育の進め方にすごく感銘を受けました。子どもたちが意見を発揮する場として機会を設定していただいて、私も皆さんの市民意見を見ても、子どもたちの意見を聞いてもどれもすばらしい思いを込めた名称だと思います。

決めるに当たっては、園児たちがどのように考えていたのかを1番念頭において決めて頂けたら、意見を出した園児たちも幸せですし、そういう機会を用意していただいて、実現したこの会としても幸せだと思います。

会長 小野地域では、どんな話が出ていましたか。

委員 候補に挙がっている名前は、PTAの会議の中で、どれも素敵だなと言っていました。「よつば」、「ありまふじ」は分かりやすく良いなと言う方が多かったです。今後シンボリックになるなら、「ありまふじ」が良いと言う意見もありました。

委員 東としては、母子・小野・高平・志手原の4園が一緒になるという、後々地域のことを考慮しますと、私個人としては、「よつば」が良いと思いました。西の方が「みつば」だとややこしいように思いましたが、資料にも書いてありますように、「よつばのクローバーは見つけたら幸せになる」と子どもたちも知っているようで夢があって私は大好きです。

会長 母子では小学校の保護者の方が、「ありまふじ」の地名を入れたら場所も分かりやすいのでいいのかなと言う意見が出ていました。やわらかい言葉がたくさんありますが、分かりにくいという事で、「ありまふじ」は、三田らしいといえますか、この地域らしい名前かなとの意見でした。

委員 地域の皆さんの意見としては、ほぼ「ありまふじ」でした。志手原ということもありますが、三田の地名が入っているほうが愛着があり、「ありまふじ」が良いのではないかという意見がありました。

有馬富士は志手原だけではなくて、新三田近くの福島も含んでいますし、志手原に特化した訳ではなく、三田らしさ、ふるさとと考えたときに「ありまふじ」が良いと、地域の皆さんから頂いた意見です。

会長 各地域のご意見を聞かせていただきました。
その他にご意見等はございませんか。

事務局 いただいたご意見をまとめまして、「よつば」、「ありまふじ」を市長に報告させていただくという方向でよろしいでしょうか。

会長 それでよろしいと思います。
それでは協議・報告事項2点目、(仮称)三田東認定こども園施設整備に当たって大切にしていることについて、事務局より説明願います。

(2) (仮称)三田東認定こども園施設整備に当たって大切にしていることについて

事務局より 5/13 ページにて説明

会長 ただいまの報告にありました内容につきまして、各委員よりご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いいたします。

副会長 資料に「衛生的で快適なトイレを整備します。」とありますが、トイレについて

ては保護者も関心が高かったです。今、志手原幼稚園の園舎のトイレが洋式2つ、和式2つ設置されています。すべて洋式トイレになるのか、和式トイレを残して改修されるの、予定が分かればお伺いしたいです。

事務局 具体的には設計の中でこれから詰めていきますが、小便器は残していきませんが、基本的には、洋式トイレに変える方向で考えております。

副会長 小便器とは、男の子が立ってする形の物ですね。志手原小学校のトイレが、洋式、和式が半分ずつになっていますので、幼稚園には和式を1つは残していただいて、年長児さんになった時に和式に慣れることができれば、ありがたいとの声がありました。

反対に3歳児さんはおむつが外れたばかりのお子さんがほとんどだと思えますので、家で慣れている洋式トイレがありがたいと思います。年長児さんは、小学校に行く前の練習として、和式トイレがあればありがたいと意見がありましたので、考慮していただけたらと思います。

事務局 今、考えていますのは洋式トイレ化ですが、ご意見を踏まえて検討させていただきます。

事務局 小学校も洋式化を進めていくという計画はあります。トイレで議論になるのが、和式トイレを残しておくべきかどうかです。世間一般では、まだ和式もありますし、実際に和式しか空いていない場合に、用を足せるのかとなれば、練習用として必要なところもあります。

先程おっしゃられたように、小学校ではまだ和式が残るかもしれないということをお前提にしますと、練習用として必要になってくるとも思いますので、設計の段階で考えていきたいと思えます。

委員 どうように設計されるのか。工事着工までに、私たちが目にすることはありますか。

事務局 設計は1年間かけて行い、その後工事をしていきます。詳細をお見せすることは、スケジュール上、難しいと思いますが、協議していただいた内容をできるだけ反映していくということでご理解願います。

委員 見られないと言うことですね。

事務局 実際には難しいです。

委員 実際に使われる教職員の意見を聴いて、考慮されますよね。

事務局 今年度の広野幼稚園の園舎改修工事には、園職員も関わって、設計を進めておりますので、東の認定こども園も同様に進めていきたいと思っております。

委員 安全面のことですが、通園バスは小さいタイプのバスで見えやすいですが、園児が登園したかどうか、門を通ったら確認できるシステムが幼稚園にも入るのか、園児がフェンスから勝手に出てしまう恐れがないようにする等を考えていただきたいです。

また、教育現場に不審者が入って来たとか、都会とか田舎とか問わず、いつどこで被害に合うかどうか分からない。今の幼稚園は不審者が来た時に、どうやって対抗するのかといった時に、おそらく何も無いと思います。園の教職員

は女性が多いので、こういう機会に「さすまた」などの道具を設置する等、安全面を慎重に設計していただけたらと思います。

事務局 先程おっしゃいましたバスの安全対策につきましては、11 ページのところで報告させていただきます。2 点目の安全対策については、フェンスや防犯カメラ、インターホン等、不審者の侵入がないように門扉に自動施錠装置を設置することなどを考えています。

バスの見通しについては、次の報告事項で説明させていただきますが、バスの駐車位置はできるだけ見通しの良い所を考えています。

会長 他にご意見はございませんか。

委員 実際に設計するのは、どういう業者がされるのですか。

事務局 市で入札を行い、落札した設計業者に依頼するという流れです。
一般的に工事の性質等によって、条件が変わってくると思います。こういった公共施設、子育て支援施設を設計した経験のある業者で、実績があることを条件に募集することになると思います。

委員 特殊な建物ですので、かなり実績のある業者でないと難しいと思います。設計図の事は、最終図面を見たい訳ではなく、何回も素案が出て、修正して、ようやく最後の設計ができる訳ですよ。特に認定こども園の改修は、大まかな部分は伝わるとは思います。現場の先生しか分からないこと、例えば、ここはこういう色合いでないとおかしいとか、ここからはこの景色が見えるようとか、取っ手の色は何色にするとか非常に細かい事ですが、そういった部分を詰めていくことで、心身の育ちの場としての幼稚園ができるものだと思います。

そのためには、早い段階から設計部署に先生方の意見を言ってもらえるよう、最初の段階からかなり細かいところから大きいところまで意見が言える形にしないと、どこにでもあるような幼稚園になってしまう。そのところは、ここの幼稚園の先生方の意見を積極的に取り入れる形で設計を進めていただきたいと思います。

事務局 そのように進めていきたいと思いますので、ご安心していただけたらと思います。

会長 その他ご意見がありますか。

それでは、協議・報告事項の3 点目、(仮称) 三田東認定こども園の登降園時の安全確保対策等(敷地)について事務局より説明願います。

(3) (仮称) 三田東認定こども園の登降園時の安全確保対策等(敷地)について

事務局より 6/13 ページにて説明

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、ご意見、ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

委員 認定こども園の保護者駐車場の確保について、志手原小学校の駐車場にコンクリートの倉庫がありますが、使用していないように思いますので、それを取り壊すことで駐車スペースが少しできると思います。運動場に駐車区画を設置することは仕方ないと思いますが、午後3 時以降の時間帯だと本来の小学校の

駐車場で足りると思います。放課後に運動場で児童が遊ぶこともあり、例えば、午後3時以降は運動場に駐車できない等の配慮をしたほうが事故を防げる可能性が高いと思います。

グラウンドに上がる所が坂になっていて、その部分が土になっています。コンクリートのない所は、穴があいているところがありますので、駐車場の整備をするのであれば、そこにも手を入れたら良いと思います。

進入路の安全確保についてですが、待避所を設けるということは良いと思いますが、小学校駐車場の進入路、出入口に電柱があり、見通しが悪いので、電柱の移動も検討していただければ、より安全に出入りしやすいと思います。

事務局 いただいたご意見を参考に検討させていただきます。

委員 運動場に駐車区画を設置することは、法的、条例的には大丈夫ですか。運動場はかなり厳しい制約があると思います。

事務局 現状でも運動場を駐車場として利用することがあります。駐車枠を明示するように設置していく予定です。

事務局 ご指摘については、臨時的に利用するのならともかく、恒久的な施設として駐車枠を明示することにご懸念があるということだと思いますので、このことについては小学校、教育委員会と相談して対応して参りたいと思います。

委員 バスの駐車場の場所として、「消防器具庫跡」を考えておられるようですが、バスはどのくらいの回数、ここに停めることになるのでしょうか。

朝はここから各方面の園児を迎えに行き、保育中はここに停車する。降園時には園内まで移動し、そこで子どもを乗せて送っていく。その後戻ってくるのも、この場所になるというイメージでしょうか。

事務局 お見込みのとおりです。

委員 道路を挟んでいるので、幼稚園まで何度も横断します。私は、いつもこの場所を通っている訳ではありませんが、交通量が多いというイメージを持っていますので、その辺りはどうなのかなと思います。

事務局 いただいたご意見を踏まえまして、安全対策において問題ないかどうかを委員の方と現地確認をさせていただけたらと思います。

会長 他にご意見はございませんか。
それでは、現地確認の日にちを決めましょうか。

事務局 皆様のご都合の良い日に設定させていただけたらと思います。

会長 全員が集まるのはなかなか難しいですね。

事務局 よろしければ、7月13日、7月14日の2日間、事務局は現地に行きますので、ご都合の良い日にお越しいただければと思います。

会長 8時30分から9時の間に視察をするということでしょうか。
それでは、7月13日、7月14日の両日実施していただき、8時30分に「小学校駐車場」集合でお願いします。

委員 小学校前の駐車場の外周道路は、小学校専用道路ですか。駐車場の北側に太陽光パネルや車の解体場のような建物があると思います。そういう方も外周道路を利用されるのですか。

事務局 この道路の所有は、小学校用地となっていますが、先ほど言われましたリサイクル業者の方も通行できるようになっています。ただ、小学校の駐車場には入れないように門扉を設置しています。

委員 利用状況はどうですか。

事務局 私が見た限りでは、それほど往来はありません。園の職員や地域の方でご存じの方がおられたらお願いいたします。

委員 通行は多くありません。太陽光発電の所はつい立のようなものがありますので、他の人が出入りするの少ない状況だと思います。

会長 他にご意見はありませんか。

それでは、協議・報告事項4点目、認定こども園での子どもたちの1日の過ごし方（イメージ）について、事務局より説明願います。

（4）認定こども園での子どもたちの1日の過ごし方（イメージ）

事務局より 8/13 ページにて報告

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、各委員よりご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

委員 子どもたちの1日の過ごし方のイメージはよく分かりましたが、先生の配属はどのようになるのでしょうか。

園では、引継ぎ・申し送りがすごく大事で、延長保育等でスムーズな引継ぎができるよう、先生方の負担がないように配慮した配属をされるのでしょうか。

事務局 職員配置の件につきましては、認定こども園の開園時間に対応した職員体制について検討を重ねているところです。

考え方としましては、職員がローテーションで開園時間に配置をして対応していくこととしておりますので、引継ぎ等がスムーズにできるようなシフトの組み方を検討しているところです。

委員 子どもたちの1日の過ごし方（イメージ）の表を作成する作業部会に参加しておりました。長時間保育の子どもたちの心情を考えると、入園してすぐの子どもたちは、他の園児さんをお迎えに来た保護者を見て帰りたくなったり、保護者の方を思い出したりしてしまいますので、さびしい思いや、不安にならないように午後2時以降の預かり方を工夫していくような話し合いをしています。

どのようにしたら、子どもたちの不安やさみしさが軽減するのかということ、いろいろ話し合いながら進めてきました。預かり保育や延長保育の時間が、お友だちと遊ぶことが楽しいと思ってもらえる時間になるよう、子どもたちが安心して1日を過ごす事ができるよう、引き続き検討しているところです。

会長 その他にご意見ありましたらお願いいたします。

委員 1号認定でも長い時間、幼稚園にいる子どもがいると思うので、2号認定はお昼寝があつて、1号認定にお昼寝がないというのはどうなのかと思います。実際の現場では検討されるとは思いますが、その辺りをどのようにされるのかなと思いました。

先程の話を聞いて、2号認定の子どもへの配慮は必要だと思いますが、1号認定の子どもや保護者も幼稚園に迎えに来て、その後、お友だちと芝生で遊んだり、保護者同士で話したりする時間はとても重要で、気持ちを楽にしてくれる時間なのです。どちらも考慮していただけたらと思いました。

委員 午睡が必要なお子さんというのは、体力があまりない小さいお子さんが前提ですが、4・5歳児さんや1号認定でも長時間保育のお子さんは、様子を見ながら必要であれば、午睡の時間を確保していけたらと思っています。

会長 その他に、意見がありましたらお願いいたします。

副会長 ※印のところで、「1号認定こどもが利用する預かり保育の時間区分は検討中です。」とありますが、以前、1号認定のお子さんの時間区分は、市立幼稚園で行われている午後2時から午後4時30分の通常の預かり保育を元に設定しますとお伺いしていたと思いますが、この預かり保育の時間区分が変わってくるということでしょうか。

事務局 基本的には、以前説明させていただいたとおりに進めていきたいと考えています。まだ、決定していないと言う意味合いで、このように書かせていただいています。

会長 他にございますか。ご意見がないようですので、次に進めさせていただきます。

それでは協議・報告事項5点目、通園バス運行の考え方について事務局より説明願います。

(5) 通園バス運行の考え方について
事務局より 10/13 ページにて報告

会長 それでは、ただいまの説明についてご意見ありましたらお願いいたします。

委員 乗車時間の目安で、最長50分以内とあり、できるだけ短縮するように便宜を図るとしてくださっていますが、50分以内にするだけでは、漠然とした印象を受けてしまいます。高平のルートは最長50分になってしまうということですが、距離が離れている地域で園児がいるかどうかで違ってきますし、年によっては50分もかからない年もあると思います。

例えば、40分かかるところを30分以内になるよう検討していく等、具体的な数字がある方が安心感があると思います。

事務局 おっしゃるとおり、できるだけ時間短縮していきたいと考えております。

年度によって、また地域性によっても変わってくると思いますので、保護者の皆さまにご協力していただきながら、できるだけ時間短縮できるよう、検討していきたいと思っています。具体的な時間設定はなかなか難しいと思いますが、時間短縮に努めていきたいと思っています。

会長 その他、ご意見ありましたら、挙手をお願いします。ないようですので、次に進めます。

 それでは協議・報告事項6点目、検討委員会のスケジュール（予定）について（東）事務局より説明願います。

 （6）検討委員会のスケジュール（予定）について（東）
 事務局より 11/13 ページにて報告

会長 それでは、ただいま説明のありました内容につきまして、ご意見、ご質問等がありましたら、挙手をお願いいたします。

副会長 令和6年度の志手原幼稚園から小野幼稚園への通園バスについて、通園バスのルート及び時刻等については、検討委員会の場で報告される機会がありますか。

事務局 資料の【8月頃開催予定】（3）「通園バスの基本ルート（募集内容）について（報告）」の中で報告させていただく予定です。

会長 その他、ご意見はございませんか。では、（7）その他にいきます。資料はありませんが、その他についてご意見のある方は、挙手をお願いします。

 （7）その他

委員 私は主任児童委員をしまして、松が丘幼稚園を担当しています。市立幼稚園は定員割れをしまして、本当に良い教育をされているのに、涙が出るほど悔しいなと思っています。そこでネックになるのが、長期休業中の預かり保育のことです。

 志手原に認定こども園ができると、長期休業中の預かり保育が可能になり、今でも、ニュータウンの方から志手原幼稚園に来られる方がいますし、松が丘や三輪からも申し込みがくるのではないかと思います。

 それはそれで良いとは思いますが、やはり、地元の小学校に近い幼稚園に通わせたいという強い思いがあると思います。市全体の幼児教育を鑑みたときに、既存の幼稚園に対しても何らかの配慮を考えていただければと思います。

事務局 今計画しています内容につきましては、現在週3日の預かり保育の実施日が、再編に伴い、三田・三輪・松が丘幼稚園は週5日に拡充する予定です。長期休業中は実施しないとしておりますが、必要性を含めまして、今後検討していきたいと考えています。

事務局 今、全国的にも少子化が凄いスピードで進んでいます。全国の出生児が80万人台を割り込んだという報道がなされておりますが、三田市も0歳児がすごく減ってきているのが現状です。そういった状況の中で、就学前施設のあり方、質の問題がこれからクローズアップされてくるだろうと思います。私どもも市立幼稚園で行っている保育・教育については、誇りを持っている訳ですが、なかなか保育時間の関係もありまして、子どもが少なくなっているのが現状であり、何とかしたいということで、この認定こども園を設立する取り組みとなっているところでございます。

 今後は、少子化の動向や国の動き、市立幼稚園・保育所、民間が行っている就学前施設の状況を踏まえながら、全体としてどのように最適化を図っていく

のかということについて考えていかなければなりません。また、その際には、いろいろご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

会長 それでは、その他にはありませんか。

委員 認定こども園の基本的なあり方に関しては3歳からですが、それとは別に、0～2歳の親子が気楽に訪れることができるような雰囲気とか、制度がもっと拡充されたら良いなと思います。

宝塚市では、毎日保育園に行ってお楽しんだり、遊ばせることができるようになってきています。それと同じような事ができれば、そこで親同士の繋がりもできますし、これからその園に入りたいということになるとと思いますので、そちらの検討もしていただければと思います。

事務局 3～5歳児については、この認定こども園で一定の長時間保育ができるようになりますが、0～2歳児は、現在はニュータウン等の施設に預けられているのが現状です。民間では、早くから入園していただいて5歳の卒園まで通っていただけるようになっていまして、一度入園しますと、こちらの認定こども園に戻って来ることはなかなか難しいと思います。

少子化も進んでいく中、限られた子どもさんを多くの園で受け入れるということ、0～2歳児のことも含めまして、どのように最適化を図っていくのか、また地域性も加味しながら考えていくことが必要であると思っております。

事務局 今度開園する認定こども園については、子育て支援も役割のひとつですので、気軽に遊びに来ていただけるような取り組みを何らかの形でやっていきたいと考えております。

会長 その他にご意見はございませんか。

それでは、本日の議事は終了しました。事務局から何かございますか。

事務局 渡邊会長、ありがとうございました。

委員の皆さまも、円滑な会議運営にご協力いただきありがとうございました。

3 次回の日程等について

次回の委員会は、各委員の日程調整を行い、令和5年8月3日に有馬富士共生センターで開催することを決定した。

本日の会議録については、速やかに作成し、各委員に内容確認のご依頼をさせていただきます。

